第54号

琴の浦荘便り

平成26年1月発行
特別養護老人ホーム　琴の浦荘
琴海戸根町743番地47
095-884-3510

地域社会を一つの施設として考える
～地域での暮らしを支える仕組みづくりを目指して～

施設長　福田　安秀

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年は多くの方々のご理解とご協力を頂きながら施設の新築・移転をやりとげ、さらに新たな事業としてデイサービスを開設することができました。
今年は琴の浦荘の運営を開始して５周年を迎えます。これまでの運営実績をもとに、「第５期長崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に即して、琴の浦荘が地域での暮らしを支える施設として地域包括ケアシステムの構築に貢献できるよう事業を推進してまいります。

施設サービス機能の充実（職員の質向上）を図ります。

全室が個室となり、入居者様にとっては、移り住んだそれぞれの居室が我が家であり、自宅での生活習慣や生活リズムをそのまま継続できるよう支援しています。
ご家族様も居室にトイレや洗面台もあり、以前よりゆっくり家族での時間を過ごすことができることを喜んで頂いています。
入居者様の高齢化・重度化が進み、看取りをはじめ医療との連携を強化しながら提供するサービスを充実させるためには、職員一人一人がより高い専門的知識と技術を身に付けていかなくてはなりません。そのためには、研修の充実や安定的な人材確保に努め、適正な人員配置を行い、職員を育てる仕組みづくりを最重要課題として取り組んでいきます。

施設機能を地域へ展開します。

国は、「単身・重度の要介護者」であっても在宅を中心とする住み慣れた地域で、尊厳と個別性が尊重された生活を継続していくことを目指しています。
当施設では、「地域を感じ、その人の尊厳とこれまでの生活の継続を大切にします。」という運営理念を掲げ、平均年齢９０歳、平均介護度４の入居者様を定期巡回と随時対応・随時訪問を行うことにより、２４時間３６５日連続した支援を行っています。
この施設機能を地域展開するためには、私たち職員自身が施設の「壁」をとりはらい、
自宅を「居室」、道路を「廊下」、徒歩での移動を「車での移動」と考えて、地域の中へ入っていき、定期巡回と随時対応・随時訪問を行い、要介護者の在宅生活を２４時間３６５日連続して支援するのです。
この取り組みにより、施設の介護職員が地域の人と顔の見える関係を築くこととなり、職員自らが地域社会の一員として地域での高齢者の暮らしを支えるというやりがいと責任を実感できる効果が期待できます。
私達は市や地域住民の指導・助言を頂きながら２０２５年の地域包括ケアシステムの確立に向けて新しい在宅サービスに積極的に挑戦していく決意です。
国が目指す介護サービスの適正な運営と「地域福祉への貢献」こそが、私達社会福祉法人に課せられた使命と考え取り組んでまいります。

総合消防訓練

12月11日(水)

新施設での初めての総合訓練ということもあり、北消防署をはじめ、第 65 分団の消防団員や戸根地区の自治会長さん、民生委員さん等、職員に加えて総勢 60 名の方に参加していただきました。
訓練終了後は、地域の方からも貴重なご意見をたくさんいただきました。

『こども110番のホーム・車』事業発足式

12月19日(木)

長崎市老人福祉施設協議会の『こども 110 番のホーム・車』事業の発足式に参加しました。琴の浦荘の車両にもこども 110 番ステッカーが貼られています。これからも地域の子ども達の安心・安全を見守っていきたいと思います。

もちつき大会

12月20日(金)

今年は施設が新しくなって初めてのもちつき大会となりました。新たにデイサービスのご利用者様も入居者様と一緒にもちつきを行いました。

「よいしょ！」の掛け声で元気よく餅をつき楽しまれました。ついた餅はお正月用の「鏡餅」として、各ユニット各部署に配ってそれぞれで飾りつけを行い、施設全体でお正月を迎える雰囲気作りができました。

時津児童合唱団来荘

12月21日(土)

クリスマスソングや長崎の懐かしい歌などを歌って下さいました。入居者の皆様も一緒に口ずさまれていました。子どもたちとのふれあいもあり、とても楽しい交流会になりました。天使のような澄んだ歌声は入居者様の心に響くクリスマスプレゼントになりました。

お正月を迎える前に…

12月19日(木)

お正月へ向けて、皆さん思い思いにお正月飾り用のお花を生けておられました。生けたお花はそれぞれのお部屋に飾っています。

「どげんふうにしよっと？」とお互いのお花の飾り方を褒め合いながら、とても和やかな雰囲気の中で楽しまれ、皆様素敵な笑顔が見られました。

クリスマス

各ユニットそれぞれで思考をこらしたクリスマスの過ごし方をされていました。普段召し上がる機会の少なかったクリスマスケーキを召し上がると、「こげん贅沢なことばしてよかろうか」と笑顔の絶えない機会となりました。

デイサービスでは利用者の皆様とクリスマスツリーをつくったり、ハンドベルの演奏を楽しんだりして盛り上がりました。